

様式③-1

平成26年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名
		公園整備事業	熊野灘臨海公園
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班
	170120	都市政策課	街路・公園班
			電話番号
			059-224-2706
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)	市町字名
	80	尾鷲 郡部 準過疎	紀北町 0
④事務事業名	県営都市公園整備事業		
⑤基本事業名	快適なまちづくりの推進(公)		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	公園整備等による生活環境の快適化		

2 事業の概要

事業の概要			
都市計画面積	530.8ha	事業採択	1970年度
事業認可面積	419.2ha	事業着工	1970年度
園路広場	11.2ha	事業完了	2014年度
運動施設	プール1箇所、体育館1棟、テニスコート6面	供用開始	2015年度
便益施設	オートキャンプ場1箇所	全体計画事業費(億円)	164.670
管理施設	管理棟5棟	全体計画工期(年数)	45年
その他施設	展望台2棟		
事業の目的			
大都市圏の住民のレクリエーション需要を満たし、また、東紀州活性化に向け、地域の特性を活かしたりリゾート施設の整備を促進する。			

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成25年度	前回評価	
評価結果(優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2012年度までの事業進捗率 97.9%	2013年度完了までの事業進捗率	97.9%
		実施済み総事業費(億円)	161.286
事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]			
整備済面積	55.0ha	オートキャンプ場	1箇所
		プール	1箇所
高塚山展望台	1棟	体育館	1棟
		テニスコート	6面

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を円れない事業 □用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)		継続
		中止
再評価審査の結果概要		